

家族介護者支援ネットワーク構築に向けた研修事業

社会福祉法人 東京栄和会なぎさ和楽苑
〒134-0088 東京都江戸川区西葛西 8-1-1

助成事業の概要

地域包括支援センターや若年性認知症支援事業(当苑自主事業)、令和 2 年より開始した障害者の計画相談事業等より、家族介護者が、認知症介護等の困難さ、世帯内の重複課題、介護と仕事の両立の困難さ、介護協力者不在等、様々な要因の中で介護に向き合う現状を多く目にして参りました。令和 3 年度より 3 ヶ年で本助成事業を受け、「家族介護者支援ネットワーク構築」をテーマに、初年度は家族会等の実態調査及び支援機関へのニーズ調査を実施。2 年目は実践活動として、ネットワーク連絡会や研修会の開催、家族会等紹介パンフレットの作成に取り組みました。

今年度は 2 ヶ年の取組を基に、更なる家族介護者への支援力向上・区内のネットワーク発展を目指し、(1) ネットワーク連絡会の開催(令和 6 年 2 月 3 日、区内家族会・オレンジカフェ団体間での意見交換等)、(2) 研修会の開催(「認知症介護に取り組む家族への支援のあり方について(同 2 月 17 日)」、「多様性のある介護～ダブルケアについて学ぶ～(同 3 月 2 日)」)、(3) 家族会等紹介パンフレットの作成(改訂版)に取り組みました。

事業の成果

(1) ネットワーク連絡会・研修会の開催

区内家族会等団体と支援機関とのネットワーク強化、及び区内の家族介護者支援の更なる体制構築を目指し、[1] ネットワーク連絡会、[2] 研修

会の開催に取り組みました。

[1] 連絡会：前年はオンライン開催に留まりましたが、本年は集合型での開催に取り組みました。家族介護者、行政職員、家族会・認知症カフェ運営団体、地域包括支援センター職員、本助成事業のスーパーバイザーを迎え、各団体の運営状況等を発信頂きました。支援を必要としている家族介護者が家族会等事業に「つながりづらい」実態を、それぞれの団体が課題認識していることを共有し、家族会等活用に関する好事例の効果的な発信、医療機関も含めた多職種からの重層的・継続的なアプローチの必要性、家族会等運営課題等の解決に向けた意見交換の継続(連絡会参加団体数の増加も目指す)、等に向けて、今後も行政機関と共に検討を続けることを確認致しました。

[2] 研修会：昨年に引き続き、「家族介護者支援の輪を広げよう!」をメインテーマに、認知症介護・ダブルケアに取り組む家族支援のあり方を取り上げたセミナーを開催致しました。ケアマネジャー・地域包括支援センター等の支援者の参加が多く見られた他、当事者・家族、ボランティア等の参加も見られ、課題提起に一定の成果があったと考えます。両セミナー共に参加者の交流の時間を設けたことで、支援者は具体的な支援方法を学ぶと共に、当事者・家族の生の声を聴き、支援者が果たす役割について再認識する機会となったとの声を多くいただきました。

(2) 家族会紹介パンフレット作成

区内家族会・認知症カフェの紹介パンフレットの改訂版を作成致しました。各団体にヒアリングを重ね、新型コロナウイルス 5 類移行後に活動

を再開しているカフェ情報等を追加掲載した一方、高齢者施設等のスペースを活用していた複数のカフェが活動再開に至っていない状況も確認致しました。また、活動を中断したことで参加者の足が遠のく、時間の経過による参加者の大幅な入れ替えも見られ、コロナ禍前と同様の活動が出来ていない実態も浮き彫りになりました。

成果の広報・公表

本研究事業の取り組みをまとめた報告書を作成し、令和3年度の実態調査協力機関（家族会等、高齢・障害支援関係者等、約350機関）やその他行政を含む関係機関へ、改訂版の家族会紹介パンフレットと共に郵送配布し、今後もセミナー開催やネットワーク連絡会開催等の機会に合わせ、定期的に関係機関へのパンフレット配布を続けます。初年度の本事業実態調査にて、支援者の約半数が「家族会・オレンジカフェ等の情報に詳しくない」と回答した結果を重視し、支援者が「家族介護者支援のあり方」について認識を高める機会づくりにつなげると共に、支援者を介して家族介護者が家族会・オレンジカフェ等の情報を提供できる仕組みづくりを進めてまいります。

また、当苑のホームページやInstagram等にも、家族会紹介パンフレットや本事業の実践報告等を掲載し、3カ年の取組について周知・啓発を続けると共に、家族介護者がいつでも情報を入手しやすいよう、わかりやすい発信を心掛けてまいります。

今後の展開

(1) ネットワーク連絡会・研修会の継続開催

3カ年の助成事業の活動を継承し、当苑若年性認知症支援事業や施設イベント（介護の日に関するイベント等）と連動させた、家族介護者支援に

関する研修会開催を継続してまいります。

また、年1回程度のネットワーク連絡会を継続し、区内家族会・オレンジカフェ等のネットワーク強化に引き続き取り組みます。連絡会に参加する団体数を拡大し、区内全域でのネットワーク展開を目指すと共に、多職種連携に関する会議や研修等での発信の場を設け、高齢・障害・医療機関等の専門職が家族介護者に対し重層的・継続的家族会等の介護者支援に関する情報提供等に取り組める体制づくりを進めます。他、会の運営に関するノウハウや課題等を共有し、支援機関の後方支援やボランティア等とのマッチングも進めながら、家族会等の運営力向上を目指して活動に取り組んでまいります。

(2) 区内家族会等紹介パンフレットの配布を継続し、家族介護者の方が情報を得られやすい環境づくりに努めます。今後のネットワーク強化にて、今回掲載できなかった精神・ひきこもり等の家族会情報等の掲載についても、関係機関との意見交換を重ねながら検討してまいります。